

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年4月13日
【四半期会計期間】	第23期第3四半期（自平成23年12月1日至平成24年2月29日）
【会社名】	シンワアートオークション株式会社
【英訳名】	SHINWA ART AUCTION CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 倉田 陽一郎
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座七丁目4番12号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区有明三丁目7番26号
【電話番号】	03（3520）0066（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 益戸 佳治
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第3四半期 累計期間	第23期 第3四半期 累計期間	第22期
会計期間	自平成22年 6月1日 至平成23年 2月28日	自平成23年 6月1日 至平成24年 2月29日	自平成22年 6月1日 至平成23年 5月31日
売上高(千円)	844,949	1,098,117	1,213,080
経常利益(千円)	45,348	40,425	85,057
四半期(当期)純利益(千円)	47,439	31,849	131,208
持分法を適用した場合の投資利益又は投資損失()(千円)	7,636	1,255	12,888
資本金(千円)	781,317	785,155	781,317
発行済株式総数(株)	58,079	58,429	58,079
純資産額(千円)	1,248,322	1,349,502	1,332,785
総資産額(千円)	1,612,480	1,506,147	1,895,693
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	864.26	577.76	2,389.34
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	857.17	562.24	2,350.48
1株当たり配当額(円)	-	-	450
自己資本比率(%)	77.3	89.3	70.2

回次	第22期 第3四半期 会計期間	第23期 第3四半期 会計期間
会計期間	自平成22年 12月1日 至平成23年 2月28日	自平成23年 12月1日 至平成24年 2月29日
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(円)	6.80	1,686.44

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクにおいて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況の中、停滞していた企業の生産活動にも一部に持ち直す動きが見られたものの、欧州の債務危機や米国の景気低迷に伴う歴史的な円高に加えてタイの洪水による供給制約の影響を受け、景気減速への懸念により一度は足踏み状態となりました。しかしながら、昨年未から消費に一部持ち直しの兆しが見られ始め、また円高にも一服感が出たことにより、依然不透明感は払拭しきれないものの、極めて緩やかではありますが回復基調を取り戻しつつあります。

このような環境の下、当社は引き続き徹底したコスト管理のもと高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりました。

当社は前事業年度後半から引き続き、東日本大震災の影響によるオークション出品点数の減少を想定し、当期間においても在庫商品のオークション出品及びプライベートセールでの販売に注力してまいりました。その結果、当期間のオークション開催は20回（前年同期間比1回減）となり、また前年同期間に比べて主力の近代美術オークション、近代陶芸オークションでの取扱高が減少いたしました。売上高及び商品売上高は増加いたしました。

当第3四半期累計期間は、取扱高2,544,557千円（前年同期間比28.1%減）、売上高1,098,117千円（前年同期間比30.0%増、内商品売上高712,097千円（前年同期間比186.1%増））、利益面におきましては、経常利益40,425千円（前年同期間比10.9%減）、四半期純利益31,849千円（前年同期間比32.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

近代美術オークション部門の取扱高は、946,180千円（前年同期間比52.5%減）、売上高は、211,460千円（前年同期間比44.9%減、内商品売上高38,990千円（前年同期間比21.0%増））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

近代陶芸オークション部門の取扱高は、131,820千円（前年同期間比35.3%減）、売上高は、33,314千円（前年同期間比31.1%減、内商品売上高3,866千円（前年同期間比11.9%減））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

近代美術Part オークション部門の取扱高は、191,700千円（前年同期間比9.6%増）、売上高は48,709千円（前年同期間比9.5%増、内商品売上高3,326千円（前年同期間比4.4%増））となりました。出品点数は前年同期間とほぼ水準で推移し、落札単価は微増となりました。

その他オークション部門の取扱高は、491,368千円（前年同期間比26.5%減）、売上高は、156,182千円（前年同期間比20.9%増、内商品売上高54,985千円（前年同期間は447千円））となりました。当期間は西洋美術オークションの開催が前年同期間に比べ1回少ないため、取扱高は減少しておりますが、在庫商品の売上高の増加が利益に大きく貢献いたしました。

プライベートセールにおきましては、取扱高は、478,738千円（前年同期間比127.5%増）、売上高は、451,598千円（前年同期間比124.8%増、内商品売上高450,874千円（前年同期間比124.9%増））と、取扱高、売上高ともに前年同期間に比べて大幅な増加となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	180,000
計	180,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年2月29日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年4月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	58,429	58,429	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あります。なお単元株制度は 採用しておりません。
計	58,429	58,429		

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年4月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年12月1日～ 平成24年2月29日		58,429		785,155		389,905

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,098	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,331	55,331	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	58,429	-	-
総株主の議決権	-	55,331	-

【自己株式等】

平成24年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
シンワアートオークション株式会社	東京都中央区銀座 7 - 4 - 12	3,098	-	3,098	5.30
計	-	3,098	-	3,098	5.30

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成23年12月1日から平成24年2月29日まで）及び第3四半期累計期間（平成23年6月1日から平成24年2月29日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	458,872	805,145
売掛金	51,752	230
オークション未収入金	15,120	28,872
商品	687,348	249,260
前渡金	472,869	308,686
その他	148,739	58,851
貸倒引当金	108	109
流動資産合計	1,834,596	1,450,938
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,232	10,408
車両運搬具(純額)	1,139	523
工具、器具及び備品(純額)	2,648	1,946
有形固定資産合計	19,020	12,878
投資その他の資産		
その他	73,284	71,638
貸倒引当金	31,207	29,307
投資その他の資産合計	42,076	42,330
固定資産合計	61,097	55,209
資産合計	1,895,693	1,506,147
負債の部		
流動負債		
買掛金	559	439
オークション未払金	3,174	37,117
短期借入金	440,000	-
未払法人税等	3,939	1,741
賞与引当金	17,179	5,617
役員賞与引当金	18,292	8,439
その他	54,613	76,240
流動負債合計	537,758	129,595
固定負債		
退職給付引当金	25,150	27,050
固定負債合計	25,150	27,050
負債合計	562,908	156,645

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,317	785,155
資本剰余金	386,067	389,905
利益剰余金	250,909	258,017
自己株式	87,856	87,856
株主資本合計	1,330,438	1,345,221
新株予約権	2,346	4,280
純資産合計	1,332,785	1,349,502
負債純資産合計	1,895,693	1,506,147

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	844,949	1,098,117
売上原価	369,846	574,785
売上総利益	475,102	523,332
販売費及び一般管理費	425,218	480,410
営業利益	49,884	42,922
営業外収益		
受取利息	369	200
受取保険金	695	1,474
貸倒引当金戻入額	-	1,898
受取査定報酬	202	-
受取保管料	1,011	-
その他	333	429
営業外収益合計	2,612	4,004
営業外費用		
支払利息	2,488	901
為替差損	4,432	3,943
消費税等差額	-	1,560
その他	227	95
営業外費用合計	7,148	6,501
経常利益	45,348	40,425
特別利益		
貸倒引当金戻入額	24,613	-
新株予約権戻入益	722	-
未払配当金戻入益	561	500
特別利益合計	25,896	500
特別損失		
固定資産売却損	510	-
投資損失引当金繰入額	14,166	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,225	-
特別損失合計	22,902	-
税引前四半期純利益	48,342	40,925
法人税、住民税及び事業税	902	1,020
法人税等調整額	-	8,056
法人税等合計	902	9,076
四半期純利益	47,439	31,849

【追加情報】

当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
季節的変動要因 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。	季節的変動要因 同左

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
減価償却費	10,295千円	6,141千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月30日 定時株主総会	普通株式	24,741	450	平成23年5月31日	平成23年8月31日	利益剰余金

(持分法損益等)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月29日)
関連会社に対する投資の金額(千円)	3,390	3,390
持分法を適用した場合の投資の金額(千円)	3,390	3,213

	前第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
持分法を適用した場合の投資利益又は投資損失 ()の金額(千円)	7,636	1,255

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	近代美術 オークション	近代陶芸 オークション	近代美術Part オークション	その他 オークション (注)1	プライベート セール	計		
売上高	383,882	48,383	44,478	129,226	200,887	806,858	38,091	844,949
セグメント 利益	314,875	29,714	26,470	89,437	14,875	475,373	270	475,102

(注)1. 「その他オークション」の区分には、Bags/Jewellery&Watchesオークション、西洋美術オークション、ワインオークション、浮世絵オークション、長谷川利行コレクションの結果を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、交換会等での販売及び貸会場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	475,373
「その他」の区分の利益	270
全社費用(注)	425,218
四半期損益計算書の営業利益	49,884

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間（自平成23年6月1日 至平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	近代美術 オークション	近代陶芸 オークション	近代美術Part オークション	その他 オークション (注)1	プライベート セール	計		
売上高	211,460	33,314	48,709	156,182	451,598	901,266	196,851	1,098,117
セグメント 利益	156,552	17,029	33,535	103,590	135,220	445,927	77,404	523,332

(注)1. 「その他オークション」の区分には、Bags/Jewellery&Watchesオークション、西洋美術オークション、ワインオークション、浮世絵オークション、長谷川利行コレクションの結果を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、交換会等での販売及び貸会場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	445,927
「その他」の区分の利益	77,404
全社費用（注）	480,410
四半期損益計算書の営業利益	42,922

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 (算定上の基礎)	864円26銭	577円76銭
四半期純利益金額(千円)	47,439	31,849
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	47,439	31,849
普通株式の期中平均株式数(株)	54,891	55,126
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 (算定上の基礎)	857円17銭	562円24銭
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	453	1,449
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年4月13日

シンワアートオークション株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 滝口 隆弘 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田 勝也 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシンワアートオークション株式会社の平成23年6月1日から平成24年5月31日までの第23期事業年度の第3四半期会計期間(平成23年12月1日から平成24年2月29日まで)及び第3四半期累計期間(平成23年6月1日から平成24年2月29日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、シンワアートオークション株式会社の平成24年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。